



夢の架け橋



令和2年 6月17日 NO. 5

許し合える心

「友だちとけんかしてしまった。わたしも悪いけど、友だちもよくないところがあるよ・・・」そんな経験があるでしょう。意地をはっていたら、どんどん悪くなるばかりですね。

反省する点があれば、自分から「昨日は、ごめんなさい。」とあやまることです。その言葉を聞いたら「わたしも悪かった。こちらこそごめんなさいね。」あやまることができた人がすばらしい。その言葉を聞いて、続いてあやまれた人もすばらしい。**許し合った**2人がすばらしいです。きっと、もっと仲のよい2人になれることでしょう。

4年前の、リオデジャネイロオリンピックでは、こんなことがありました。



マリーゴールド・ニチニチソウは夏の花、パンジー・ビオラは冬の花、そしてサツキ。花壇で仲よく咲いています

陸上の5000m予選の出来事です。

レースの中盤、競い合っていたアメリカの選手とニュージーランドの選手の足が接触しました。そのせいで、2人とも転倒しました。地面に体を強く打ちました。先に立ち上がったアメリカの選手は、走るのかなと思っていると、転倒しているニュージーランドの選手を抱き起しました。

「大丈夫。がんばろう。」

2人は一緒に走っていましたが、やはり足が痛かったのでしょうか。今度はアメリカの選手が、うすくまってしまうました。それを見たニュージーランドの選手は、走るのをやめ抱き起したのです。

「一緒に最後まで走ろう。」

足が絡まったのは、もちろんわざとではありません。でも、その後の2人の行動。相手を責めるのではなく、助け合ったことです。抱き起したり抱き起されたり。励ましたり励まされたり。

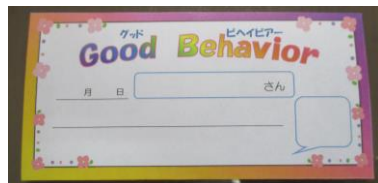
2人は結局、最後から1番2番でゴールしました。2人がゴールした時、会場は大きな拍手に包まれました。



オリンピックに向けて、2人ともたくさんの練習をしてきたでしょう。だから、転倒はショックだったに違いありません。普通なら、「あなたが悪いんだ！」と責める言葉が出るところです。でも、2人は違いました。すぐに、自分の足の痛みや記録ではなく、倒れている相手のけがのことを心配したのです。『自分より相手のことを思う気持ち』 2人の『許し合う』の姿は、勝敗をこえて感動をよびました。

2人の素晴らしい行動が評価され、特別に決勝レースへの参加が認められたということです。

先週は、琴西小のなかよし週間でした。人権意識を高めるために、①クラス目標づくり
②グッド・ビヘビアカード ③教育相談 ④人権図書コーナー
⑤道徳での人権授業 の取組みをしました。



グッド・ビヘビアカード

「〇〇さん、進んで配りものを配ってくれてありがとう。」

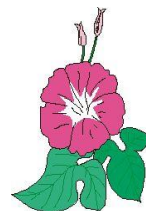
「〇〇さん、算数の時、いつもよりたくさん発表できましたね。」・・・ 4月から1日も欠くことなく、ある教室の黒板には、児童への励ましの言葉が書かれています。自分や友達がほめられている言葉を読んで、クラスの1日がスタートします。

先生から児童、または友だち同士で、『グッド・ビヘビアカード』を渡しています。友達のよい行いに気がつくことができるように、また先生からほめられることで、より意欲をもってがんばることができるようにという願いからです。カードを見たら、ぜひお家でもほめてください。学校でも家でもほめられることで、子どもたちは愛されているという気持ちを確認することができます。

私たち大人は、忙しい時等は、どうしても子どもの「できていないところ」に目がいきがちです。でも、どの子どもも必ずよい行いをしています。それを見落とすことがないように、愛情のアンテナを高くはり続けたいものです。しっかりとほめて育てていきたいと思えます。

各クラス、「めあて」を考えました。低学年・なかよし学級のめあてを紹介します。

- 〇なかよし・たのしい・ロボット、なクラス。（なかよし1）
- 〇こまってるともだちがいたら たすけよう。（なかよし2）
- 〇友だちとなかよくする。わる口を言わない。ケンカ〇！（なかよし3）
- 〇ともだちに ゆずろう。おもいやりのある こうどう。（1-1）
- 〇ともだちとなかよくしよう。 ・〇〇さん ・ふわふわことば（1-2）
- 〇やさしいことばで なかよし。「だいじょうぶ」「～さん」「どうぞ」「いいよ」（2-1）
- 〇一人ひとりが やさしくして みんなで たすけあおう！（2-2）



1 新型コロナ対策、熱中症対策について

6月になり、急に暑くなりました。気温も湿度も高い日が続いています。学校では、新型コロナ対策とともに熱中症対策もしていきます。今年度から各教室にクーラーが設置されました。換気の面で、教室を密閉することはできないので、空気を入れ替えながらクーラーを使用するということになります。ご家庭での朝の健康観察も、引き続きお願いいたします。

2 安全安心な生活について

『命を大切に』 学校と家庭で気をつけていきたいことが3つあります。1つ目は、前号でお知らせしました交通安全です。まず、「右・左・右」の安全確認です。

2つ目は、学校や遊びから帰る時間の約束についてです。以前、下校途中に友だちの家で遊んでいた児童がいました。保護者と職員で探しましたが見つかりません。1時間後ぐらいに、警察に連絡すると「遅すぎます。通報はまず警察です。約束の時間から10分でも15分でも遅れたら、連絡してくれて構わないのです。」というお叱りを受けました。『帰る時間というのは絶対に守らなければいけないこと。』という指導をしていきたいと思えます。

3つ目は、海や川での遊びです。今年は水泳学習がありません。海水浴場も閉鎖されています。

「暑いなあ。たまらない。まてよ、すぐ近くには海がある。よし、行くぞ！」

「ちょっと待った！」このあたりの海は全て『遊泳禁止区域』です。大人でも泳いだら、警察なのです。それだけ危険だということ。海で泳ぐことは、新型コロナや熱中症よりも、危ないことだと考えています。行動をよく考えて、『命を大切に』